


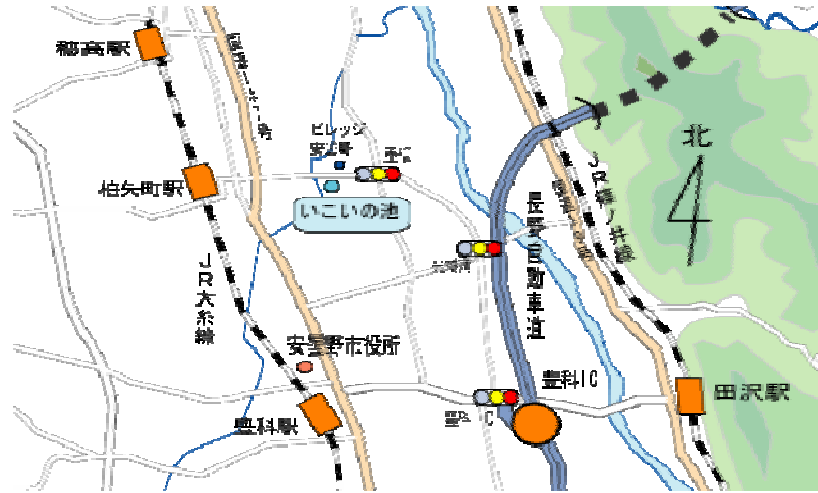
# いこいの池

所在地	安曇野市豊科南穂高4981-4	種類	湧水
			
<b>概要</b>			
<p>いこいの池には、約半年かけて扇状地下をくぐり抜けた北アルプスの雪どけ水が、豊富に湧出しています。</p> <p>湧水は年間を通して9～16度で、わさび栽培やニジマスの養殖など特色ある地域の産業に大きな役割を果たすとともに、観光資源として定着しています。</p> <p>昭和60年に環境庁の「名水百選」の一つに選定され、平成7年には国土庁から湧水群の周辺地域を「水の郷」とする認定を受けています。</p>			
<b>水質・水量</b>			
日量70万トンを誇る一大湧水群は、真夏でも水温が16度を越えることは無く、冷たく、清澄です			
<b>周辺環境</b>			
<p>本湧水の周辺には、日本一の規模を誇る大王わさび農場を始め、多くのわさび田が散在しています。</p> <p>犀川には、毎年11月から3月まで1,000羽程のコハクチョウが飛来し、市内のほ場を行き交いながら越冬します。</p> <p>また、安曇野はバラエティに富んだ道祖神の宝庫でもあります。</p>			
<b>利用状況</b>			
<p>豊富な湧水を利用して、灌漑やニジマスの養殖・ワサビの栽培が盛んです。</p> <p>水温が一定していることから、夏場は涼を楽しむいこいの場として、冬場は冬期間の漬物として欠かせない「野沢菜漬け」の「お菜洗い」をする人で賑わいます。</p>			
<b>水環境保全活動</b>			
<p>いこいの池は、豊科開発公社が管理し、周辺の草刈りや樹木の伐採、池の掃除などの環境整備に取り組んでいます。</p> <p>また、定期的な水質検査や、広域的な地下水位観測を継続しています。</p>			
<b>故事来歴</b>			
<p>安曇野では、北アルプスの雪解け水を集めた清流を利用して、古くから新田の開墾や用水・堰の開削を行ない、広大で豊かな田園風景を形成してきました。また、伏流水は豊富な湧水となり、大正時代からわさびの栽培やニジマスの養殖に使うなど、水を利用してきました。</p>			

アクセス

J R大系線「豊科駅」下車 車10分 JR大系線「柏矢町駅」下車 車5分 / 徒歩20分  
長野自動車道豊科IC 5分

<マップ>



お問い合わせ

安曇野市 市民環境部 環境課 (穂高総合支所内) 〒399-8303 安曇野市穂高6658  
安曇野市 産業観光部 商工観光課 (三郷総合支所内) 〒399-8101 安曇野市三郷明盛4810  
TEL : 0263-82-3131 E-mail : kankyou@city.azumino.nagano.jp  
0263-77-3111

当該湧水等のURL

<http://www.city.azumino.nagano.jp/>